

## 委員の意見・提案（まとめ）

## ■第1回（平成28年6月22日）

旧清至中学校	旧赤羽中学校
<p>【質問】現在、東校舎はどのような活用がなされているのか。 また、東京成徳学園は、どのような利用をしているのか。</p> <p>【回答】東校舎は保育所として28年10月から30年3月頃まで利用する。 東京成徳学園は、部活動を中心に利用している。</p>	<p>【質問】どの程度の敷地が、都市計画道路の区域になるのか。</p> <p>【回答】約1,000㎡と聞いているが、精査でき次第、お伝えする。</p>
<p>【質問】東京成徳学園は、30年4月以降はどのように考えているのか。</p> <p>【回答】取得意向があると認識している。</p>	<p>【意見】赤羽東地区には、高齢者医療に関する施設が少ないと懸念している。</p>
<p>【意見】防災のまち・機能を考えていく必要がある。</p> <p>【質問】東京成徳学園は、防災機能についての見識はどうか。</p> <p>【回答】現在、避難場所となっており、地域貢献で防災面の配慮がある。</p>	<p>【意見】危険度が高い地域であるので、都市計画道路の整備は重要である。</p>
<p>【質問】資産活用における民間活力導入について、どのように考えているか。</p> <p>【回答】コンセプトをもとに、様々な具体的活用の検討が必要と考えている。</p>	<p>【意見】どういう利用をしたらこの地域が安全安心な地域になるかという視点を大切にすべき。</p>

旧清至中学校	旧赤羽中学校
<p>【意見】防災面からオープンスペースの確保という考え方もある。</p>	<p>【質問】赤羽岩淵中学校は、将来的な生徒増加に対応できるのか。 また、防災を優先する枠組みは区としてあるのか。 【回答】対応可能と見込んでいるが、次回以降に資料を提出したい。 ルールを明確化している訳でないが、優先順位は高いと判断している。</p>
	<p>【質問】検討を進めていくにあたっての課題は。 【回答】都市計画道路の整備があり、敷地面積が若干狭くなる。 また、2020年完成を東京都は目指しており、区として必要な手続きをする必要がある。</p>
	<p>【質問】保育園等の待機児童対策の関係は。 【回答】本地域は、年少人口が伸びており、保育園のニーズは一定程度あると見込んでいる。</p>
	<p>【意見】赤羽に新幹線が止まることになれば、土地の値段が上がる。 慌てて用途を考えなくても良いのではないかと。</p>
	<p>【意見】福祉と医療の連携拠点・機能が不足しており、どのように確保していくかが全区的な課題。 また、医療・福祉・介護は、産業の活性化といった視点で考えていくこともできる。</p>

旧清至中学校	旧赤羽中学校
	【意見】 保育園、高齢者医療、病院が優先順位が高いと考えられる。
	【意見】 防災に力を入れている本地域の安全を支える場所として重要である。

■第2回（平成28年7月26日）

【意見】 学園都市として恵まれている場所、一体的な仕組みで利用すべき。	【意見】 有効利用の比重・順番が課題となってくる。総合型病院、それに併設する保育園・高齢者医療施設の比重が重くなるのでは。
【意見】 環境がとても良いので、時間を置いて考えても良いのではないか。	【意見】 女性も男性もいきいきと活動できる場所であったら良いと思う。

旧清至中学校	旧赤羽中学校
【意見】いざというときの命や当座の生活を守る場所としての確保が大切。	【意見】長期的に有効利用を考えた方が良い。
【意見】長期的に有効利用を考えた方が良い。	【意見】特別養護老人ホームのニーズが高いとの声を多数聞く。 東京先端医療モールビルのようにビル型の医療集積も参考になる。
【意見】東京成徳学園等、学校関係者と連携を図りながら防災を考えていくまちづくりの推進が重要。	【意見】建物は立てずにオープンスペースとしての機能を活かしておくことも検討が必要ではないか。
	【意見】都市計画道路整備により住環境が改善され、防災上も必要である。
	【意見】総合病院、女性のための施設、防災教育施設、子どもたちの場所といった提案を頂いた。 また、オープンスペースとして確保との考え方もある。 最終的にどのように整理していくか、十分に考えていきたい。